

八名川小学校

学校だより

第335号／平成24年度 9月号

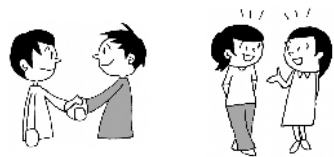
ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260



「異質への寛容」

校長 手島 利夫

夏休みが終わり、学校に元気な子どもの声が帰ってきました。いいものですね。

この夏は竹島・尖閣諸島など日中韓の問題が気になって仕方ありませんでした。8月29日から、韓国政府の招きで5年の吉岡教諭を韓国教育視察に派遣する直前の出来事でした。また、10月19日には日本政府の招きで来日する中国の先生方の内、25名を本校に迎えるお話があるからでもあります。どちらのプログラムも、日中韓の教員同士が互いに心を開き、教育実践に学び合い、それらを通じて心を通わせ、子どもたちの未来を語り合う中で互いの信頼と尊敬の絆を深めていく取り組みです。

このような時だからこそ、国連の取り組みとしてプログラムの実現と成功を図りたいものです。国が異なり、言語・文化・歴史観が異なるのだから互いに理解し合うのは難しいです。まして利害の対立が表面化した中での交流には、細心の注意が必要でもあります。しかし、子ども達に不審や対立を教えていてはユーロを超えるアジアの連携はあり得ません。子どもに何をどのように教えるかで次の時代が変わるのです。

八名川小学校においては、「異質への寛容」を大切にしております。これは人が人として仲良く学び、暮らすための大切な認識であり、国際理解教育の本質でもあるからです。授業の中で課題解決に向かって様々な考えを出し合い、一人では気付かなかった見方や考え方が生まれる時、みんなで学ぶ価値や喜びが感じられるのです。

また世界の人々が、同じ地球という限られた環境で暮らす仲間として、「世代を越えて持続可能な世界をどのように創っていくのか」という課題意識を共有した時に、多様な観点に立った（異質な）様々な取り組みが国境を越えた学び合いとして成り立ち、国としての連携が進むのです。

八名川ファミリーとしての仲間意識を大切にしながらも、互いの個性や持ち味を大切にし、認め合える学校づくりは、「異質への寛容」が出発点になっているのです。

夏休み中も、ラジオ体操や地域パトロール、少年キャンプやお祭り、PTAのラストサマー・フェスティバル等々の行事や様々なお声かけなど、地域の皆様やPTAの皆様方のお力で、子どもたちが無事で、元気に学校に戻ってきました。

職員一同力を合わせて、本校教育の充実に取り組み、子どもたち一人一人の良さを伸ばしてまいりますので、この秋もよろしくお願いいたします。

八名川小学校

学校だより

第333号／平成24年度 6月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

TEL 3631-2260

運動会、お天気心配ですね



校長 手島 利夫

いよいよ6月3日（日）は、八名川小学校の運動会です。ご家庭・地域の協力をいただきながら練習を進めてまいりました。多くの皆様にご来校いただき、子どもたちのがんばる姿に大きな声援をいただけたらと思っております。天気が心配ですが、前もってお配りしたお手紙の通りに進めますので、よろしくお願いいたします。

俳句さく咲く！ ユネスコすくスク！

NHKのEテレ、7月22日（日）6：35～7：00、再7月25日（水）15：00～放送予定の「俳句さく咲く」について、協力の依頼が届きました。本校の俳句教育への取り組みが高く評価されてのことです。撮影日には、俳人の宇多喜代子さん、レギュラーの石井正則さん他の方々の来校が予定されています。当日は6年生児童とゲストとの句会も予定されています。本校の特色が花開く番組になりそうです。ご期待ください。



また、6月11日（月）には、日本ユネスコ国内委員会から文部科学省の加藤国際統括官の来校が予定されています。これは、就任間もない同統括官が日本ユネスコの代表として、ブラジル、**リオ+20サミット The Future We Want「国連持続可能な開発会議」**において、日本ではESDをどのように進めようとしているのか、また、日本からどんな発信をしたらよいのか、実際の教育現場を視察して参考にしたいとのことで計画されたものです。

ユネスコスクール八名川小学校の教育の進め方や、子どもたちが保護者や地域の方々に守られながらすくすくと育っている様子をお見せしたいものと思っております。

八名川小学校

学校だより

第332号／平成24年度 5月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

子どもの安全をみんなでつくる



校長 手島 利夫

本年度は児童数367名、12学級でスタートしました。

学校規模が拡大する中で児童の安全を確保するために、3月には登校班の見直しに取り組みました。またPTAでも、これに合わせて組織を改め、校外安全部を新設してくださいました。

おかげさまで、子どもたちは保護者の皆様に見守られ、各町会の皆様にも見守られながら、4月当初から登校班ごとに整然と登校できております。遅刻者も全くなくなりました。交差点での混乱も改善されました。

登校班チーフサポーターの方々や、その活動を支えてくださっている保護者の皆様、旗振り当番等でご協力くださった皆様、PTA役員の皆様に心よりお礼申し上げます。

また、5月には深川警察署のご協力をいただき、交通安全教室・自転車教室も開催されます。関係の皆様よろしくお願いいたします。

さらに、児童の発達段階に合わせて、江東区と連携した地域安全マップづくり、携帯やゲーム機の通信機能を使ったトラブルや問題行動への指導を行うセーフティ教室、また、薬物乱用防止等の教育も進めてまいります。

身近な所だけでなく大きな社会の変化にも目を向けながら、また、関係する皆様のお力をいただきながら児童の安全な生活を創ってまいります。よろしくお願いいたします。

八名川小の学びを創る

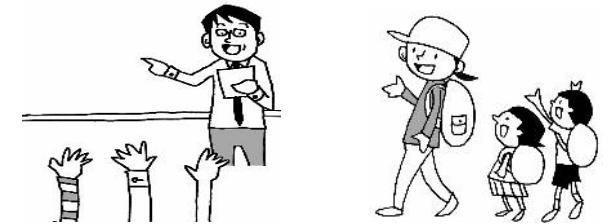
4月の保護者会では、ユネスコスクールとしてどのような学びを創るのかについてお話をいたしました。本校の職員は今年度も「**確かな学びを豊かな探究に！生活科・総合的な学習の時間で創る楽しい授業**」～地域に根ざしたユネスコスクールの実現～をテーマに掲げ、研究・研修を進めます。

先日ご案内しましたとおり、毎月行う研究会は公開しておりますのでお気軽にご参加ください。保護者や地域の皆様と一緒に八名川小学校の学びを創っていけたら素敵だなと思っています。ユネスコスクール関係者やESDの研究者、企業やNPO関係者等のご参加があるかも知れませんが、様々な方とともに学ぶ中で、子ども達のために充実した教育を進めたいと考えますのでご理解ください。

5月24日（木）午後2時30分～4時 には目白大学副学長・多田孝志先生のご講演をもとに「子どもの学びに火をつける授業づくり」について考えたいと思います。

6月26日（火）5年、7月10日（火）6年、9月20日（木）4年、10月31日（水）3年、11月12日（月）1年、12月18日（火）2年 の各回は授業研究会で、午後1時30分から4時の予定です。1月22日（火）午前には八名川まつり、2月27日（水）2時30分～ には全学年からの実践報告会も予定しております。

よろしくお願いします。



◆副 校 長 濱方 弥生

『元気なあいさつ 八名川スマイル』・・・初めてこの学校に来たとき、校長先生から教えていただいたこの学校の合い言葉。私はすぐに八名川小学校が好きになりました。大人も子どもも、みんながいつも笑顔で元気に挨拶…なんて素晴らしい学校でしょう！地域に愛され地域に支えられている八名川の子ども達が、毎日楽しく通えるような学校作りのために、少しでもお役に立てたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

◆教 諭 小松 あいさ

初めて八名川小に来たとき、子供たちから元気のよい挨拶で迎えられ素晴らしい学校だと感じました。笑顔あふれる八名川小の一員になれたことをとても嬉しく思っています。子どもたちのよいところをたくさん見つけ、安心して楽しく学校生活を送ることができるように努めていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

◆教 諭 小野瀬 悠里

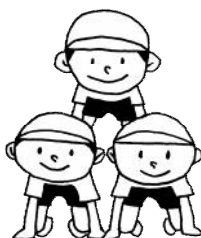
3年生から6年生の少人数算数で授業をもたせていただいております。挨拶やお礼の言葉がきちんとしている八名川小学校の子ども達には、昨年度の3月にお世話になっていた時から、とても感心していました。授業や行事など、子ども達のために、全力で取り組みたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

◆学 習 支 援 員 増田 直子

子ども達が小学校での学習や集団生活を楽しくおくことが出来るように、子ども達と一緒にたくさんの経験をしてお手伝いしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

5月の生活目標 「力いっぱい運動しよう」

昨年度から八名川小学校の運動会は、春に実施されるようになりました。そこで、6月にある運動会に向け、5月は運動会練習が始まります。練習は想像以上に体力を消耗します。普段から、外遊びをしているお子さんは体力がついているので、練習も生き生きと取り組むことができます。本番に精一杯の力を出せるよう、普段から体を動かすよう指導していきます。ぜひご家庭でも、外遊びや運動をするよう声をかけてあげてください。また、たくさん運動した後は、しっかり休息もとらせてください。(生活指導)



(生活指導部 花田 環世)



5月の行事予定



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
4 / 2 9	3 0	1 全校朝会 個人面談① 午前授業	2 個人面談② 午前授業	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日
6	7 全校朝会 安全指導 個人面談③ 午前授業	8 体育朝会 眼科検診(全) 委員会活動	9 体育朝会 午前授業 はなまる教室	1 0 歯科検診 (2・3年生) 個人面談④ 午前授業	1 1 A L T 耳鼻科検診 (3・5・6年生)	1 2
1 3	1 4 全校朝会 避難訓練 個人面談⑤ 午前授業	1 5 交通安全教室(全) 自転車教室 (4年生)	1 6 運動会全体練習 はなまる教室	1 7	1 8 耳鼻科検診 (1・2・4年生) 運動会係児童 打ち合わせ	1 9
2 0 わんぱく相撲 江東子どもまつり	2 1 全校朝会 クラブ活動	2 2 運動会全体練習	2 3 尿検査2次 はなまる教室	2 4 5時間授業	2 5 A L T	2 6
2 7	2 8 全校朝会 運動会係児童 打ち合わせ	2 9	3 0 運動会全体練習 はなまる教室	3 1	6 / 1 運動会前日準備	2

ご意見をお寄せ下さい

八名川小学校の教育活動についてのご意見やご提案をお寄せ下さい。お待ちしております。

[illegible]

江東区立八名川小学校

TEL 3 6 3 3 - 5 4 2 8 (校長室)

3 6 3 1 - 2 2 6 0 (職員室)

FAX 3 6 3 1-3 1 2 7

八名川小学校 学校だより

第331号／平成24年度 4月号

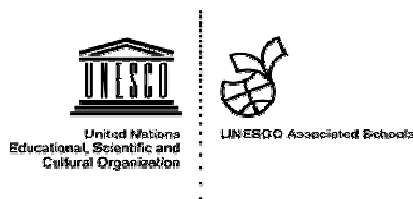
ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260



ユネスコスクールとして 地域の明るい未来を育てます

校長 手島 利夫

満開の桜と緑の芝生に囲まれて、平成24年度が始まりました。今年度は、47名の新一年生を迎え、児童数366名、12学級でのスタートとなります。保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて、**未来社会のたくましい担い手を育みます。**

八名川小学校の子どもたちの成長が、この町に明るさや希望をお届けできるようにがんばりますので、よろしくお願いいたします。

元気なあいさつ八名川スマイル

元気なあいさつと輝く笑顔は、八名川小学校の宝ものです。あいさつから始まる豊かな人間関係を学校から地域に広げ、町を元気にしていきます。

緊張感のある充実した授業

何よりも意欲を持って学ぶことが**学力向上**への道です。児童の確かな学力を培うために、職員も研究・研修に努めます。（国連のユネスコスクールとして、研究・実践に取り組み、その成果を児童の姿を通じて国内外に発信いたします。）

発見・感動・創造の俳句教育

芭蕉さんから学ぶ八名川小学校の文化や心意気を大切にします。日常的に俳句に取り組み、発見する眼、感動する心、創造する意欲を育てます。八名川小学校から、そして江東区から児童俳句の楽しさを全国に発信すると同時に、**地域の文化や歴史に対する誇り**を育てます。

保護者・地域・専門家との連携

芝生・お花・ホームページ・読み聞かせなどのボランティアの素晴らしい活動や、放課後のげんきつずとの連携、土曜日のウィークエンドスクールの充実、わんぱく相撲など様々な大会への参加と盛り上がり、専門家の方々を招いた特別授業などが、子どもたちに**感動やあこがれ**を育て、**学習や生活を豊かなもの**にしています。

この良さを定着させ、皆様のご協力で一層発展させていきます。また**P T A**や、**やながわファミリー**のご支援をいただきながら「世界に誇れる教育」を実現するとともに「学校を中心とした、世代を越えた学びの広がり」も大切にしていまいります。

八名川小学校

第330号／平成23年度 3月号

八名川小学校ホームページアドレス

http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

学校だより

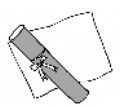
ユネスコスクール

江東区立八名川小学校

Tel 3631-2260



「子どもたちの成長」



校長 手島 利夫

平成23年度は、「元気なあいさつ八名川スマイル」を合い言葉に、地域に根ざし、未来を目指した教育を進めてまいりました。

具体的には、教師の授業力を高めユネスコスクールとして質の高い学びを実現することや、地域の伝統である俳句を取り入れ、発見・感動・創造の心を培うこと、外部講師や保護者・地域の教育力を取り入れ多様で豊かな学びの場を作ること等を重視してまいりました。

また、開校95周年記念運動会や記念展覧会、記念式典など様々な学校行事の中でも子どもたちのがんばる姿をご覧いただくことができました。これも保護者や地域の皆様方の温かなご理解とご協力のおかげと、心よりお礼申し上げます。

12月に行った児童へのアンケートでは、下の表のような答えがありました。

(%)

	学習に進んで取り組む				俳句作りに進んで取り組む				学校が楽しい			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
低学年	38	47	13	2	63	29	6	2	71	24	3	2
高学年	31	57	10	1	30	55	13	2	60	30	5	4
	地域の行事に参加した				外部の大会に参加した				地域の人たちにあいさつできた			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
低学年	40	33	17	10	30	17	19	35	59	31	8	2
高学年	34	34	18	12	32	32	14	22	49	49	6	3

A・・・よくできた B・・・まあまあできた C・・・あまり D・・・いいえ

1月に開催された学校評議会でも、この調査結果や今年度の学校の取り組み全般を踏まえ、「本当に元気なあいさつができていて、素晴らしいです。」「ユネスコスクールとしても先生方ががんばっていますね。それが子どもたちの姿に現れています。」という高い評価もいただきましたが、

「調査した日にけんかでもあったのかも知れませんが、学校がどの子にとっても楽しいところになるよう、お願いします。」という貴重なご意見をいただくこともできました。

私も教職員一同、心を引き締め、教育活動の一層の充実を図り、どの子にとっても楽しく、安心して学べる学校づくりを進めてまいります。

八名川小学校 学校だより

第327号／平成23年度 12月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260



「開校95周年を祝う」



校長 手島 利夫

12月6日に江東区立八名川小学校開校95周年記念式典を挙行政いたします。

本校は大正5年の開校以来、関東大震災、第二次世界大戦等の幾多の試練を乗り越えて、この日を迎えております。特に第二次世界大戦の末期、3月10日の東京大空襲により、3000人以上もの人々が暮らしていた森下1丁目で、生き残ったのは疎開していた子どもやお年寄りを含めた600人足らずになってしまったことなどを考えると、地域の皆様にとっても感慨深いものがあるように思います。



八名川小学校95年の歴史の中で、5732名もの児童がここに学び、社会に巣立ってまいりました。本校の歴史を創ってきたのは、ここに学んできた児童であり、教職員であり、それを支えてくださっている保護者・地域の皆様のお力です。

今回の式典に際しましても、八名川地区連合 新大橋の向こうに戦災で焼け残った校舎が見える町会の皆様からトランペットを、PTA・同窓会・八名川ファミリーの皆様からオリジナルバッグや集合写真入りクリアファイル等をいただいております。

6日の記念式典には351名の全校児童を参加させ、この学校に学ぶ喜びと誇りや責任を自覚させていきたいと考えております。

また、私ども教職員も八名川小学校の歴史と伝統を大切に、地域に根ざし未来を目指した教育を全力で進めてまいります。今後とも変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。

八名川小学校 学校だより

第325号／平成23年度10月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>



「さかなクン」からも学ぶ

校長 手島利夫

文部科学省・日本ユネスコ国内委員会の主催で第3回ユネスコスクール全国大会が11月12日（土）に開催されます。東京海洋大学品川キャンパスに全国500名の教育関係者が集まり、「ESDの深化と拡充」をテーマに実践研究の交流を図ります。

そのオープニングの研究授業に八名川小学校の6年生と吉岡佐登美教諭が招かれました。また、その授業に東京海洋大学客員准教授のさかなクンが特別講師として子どもたちの授業に参加してくれることにもなりました。子どもたちの発表に「ギョギョギョ！」と言いながら、楽しくわかりやすいお話をしてくれるものと思います。

6年生の児童が、さかなクンのパワーに負けずに、堂々と語り、質問力・対話力を発揮してくれることを期待しております。

東京海洋大学での授業の前に、校内でも5年生や保護者・地域の皆様に向けた発表の場が設けられると思いますので、その際には是非とも参観と励ましをお願いします。

本校でのユネスコスクールとしての研究・実践は、まだ始まったばかりですが、国内外からの様々な訪問・視察をいただくようになりました。

9月28日（水）には、タイから東南アジア教育大臣機構事務局長のティンシリさんが来校し、4年生児童が、江東区清掃事務所の方々から学ぶ様子を観望しました。

ティンシリさんは、八名川小学校児童の明るさと熱心に学ぶ様子や、地域の関係機関と協力して授業を構成している、本校の先生方の取り組みにも、大変感心してくださいました。また、ESDカレンダーと呼ばれる独自の指導計画を、教育大臣機構に参加している11カ国に紹介して下さることになりました。



人や物とふれ合いながら体験的に学ぶ4年生

八名川小学校

学校だより

第324号／平成23年度 9月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260



「子ども達を一層元気に堂々と！」



校長 手島 利夫

南アフリカ共和国の学校での共同研究から帰国したばかりのある教授から、「南アフリカの子どもたちは、ものすごく元気でしたよ。わからない子が堂々としていて、やる気に満ちています。日本の先生たちは『これがわかる人？』と言って、わかる子ばかりを相手にしていませんか。」と教えていただきました。

学校での学びを、どの子にとっても価値あるものにすることの大切さに、改めて気づかされます。

激変を続ける国際社会の中で、様々な課題に対応し、真に生き抜いていく力を育むには、学校教育のあり方も従来のものと変えていく必要があります。

教育目標にある「**自ら進んで学ぶ子**」も、単に自ら考え、進んで学ぶだけでなく、学びの契機として、問題に気づき、自ら調べ、自ら学び、それを元に判断したり、学んだことを自らの生き方に活かしたり、これは重要だと思ったことをやり抜いていく**問題解決力**としてとらえる必要があります。

また「**思いやりのある子**」も、人としてのあり方を踏まえて、様々な人と心を通わせたり、人を思いやったり、あるいは人の生き方に感動する心を育んだりする、**豊かな心やコミュニケーション能力の育成**ととらえていくことが大切だと思います。

実は、私自身もこの夏休みの期間中に体調を壊してしまい、不自由な日々を過ごしておりました。「**体をきたえ命を大切に**する子」が、全ての基本にあるのだなということも実感しました。自分の命の大切さに気づき、成長の喜びを実感できるからこそ人の痛みがわかり、**命や人権の大切さ**をわかるのかも知れません。

このような考え方を踏まえて、皆様方とともに八名川小学校の子どもたちを育てていきたいと思えます。

夏休み中も、盆踊りやお祭り、ラジオ体操や地域パトロール、少年キャンプやPTAのラストサマー・フェスティバル等々の行事や様々なお声かけなど、地域の皆様やPTAの皆様方のお力で、子どもたちが無事で、元気に学校に戻ってきました。

職員一同力を合わせて、本校教育の充実に取り組み、**子ども達を一層に元気に堂々**と育ててまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

八名川小学校

学校だより

第321号／平成23年度 6月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

雨にも負けず盛り上がった運動会



校長 手島 利夫

5月29日（日）には、雨の中にもかかわらず、運動会公開練習にご来校いただき、ありがとうございました。また、5月31日（火）には、平日にもかかわらず、多くの皆様の励ましの中、開校95周年記念運動会ができましたこと、心よりお礼申し上げます。

子どもたちが、運動会への取り組みの中で、大きな成長を見せてくれたことも、うれしい限りでした。ご協力いただきましたPTA役員の皆様はじめ、関係の方々のおかげです。ありがとうございました。

未来に続く「今」を大切に！

東日本大震災の恐怖と混乱の中から、安全な町づくりに向けて、物心両面から備えることの重要性は、だれもが感じているところです。

私たちの暮らしているこの地域は、一見すると安全そうに見えます。しかし、ひとたび地震が来て、ライフラインが止まったらどうなるか、堤防が崩れたら水没する危険性はないのか、大火災による全焼をいつ、だれが食い止められるのか、子どもたちの安全をどのようにして守るのか、備蓄は役に立つのか、組織としてどのように動いていけばよいのか・・・、様々な課題が見えてきました。

そこでこの度、阿部誠連合町会長様を中心として連合町会、江東区防災課、地元消防団、PTA、八名川ファミリー等が連携して、地域防災訓練を行うことになりました。

避難所運営本部模擬会議、仮設トイレの設置などの防災設備体験ツアー、体育館での宿泊訓練や炊き出し訓練、仮設風呂入浴体験、NHK制作の「首都水没」の上映、消火訓練等々が計画されています。詳しくは各町会やPTAからお知らせがあると思います。



防災訓練準備打合せ会には100名もの方々が参加

学校は子どもたちの豊かな学びを創る場であると同時に、地域の皆様の安全な町づくり・安心のよりどころとしても、お役に立ちたいと思っております。「未来に続く今」の備えや、取り組みを大切にしていきましょう。

八名川小学校 学校だより

第320号／平成23年度 5月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

共に生きることを学ぶ

校長 手島 利夫

東日本大震災被災地への学用品支援、ご協力ありがとうございました



児童運営委員会が中心になって、ユネスコスクールの活動として3日間の募金活動が行われました。各ご家庭からのご理解ご協力のおかげもあり、総額202,530円ものお金が集まりました。ありがとうございました。

早速ノート900冊、鉛筆900本、消しゴム900個を購入し、発送することができました。

ノートには「いっしょにがんばりましょうね。」「おうえんしてますよ」などのメッセージシールを貼り、心を込めた寄せ書きとともに送りました。

八名川小学校からの学用品は、宮城県の気仙沼市を中心とした学校の子どもたちに届けられるそうです。

心を寄せ合う募金活動（本校ホームページより）

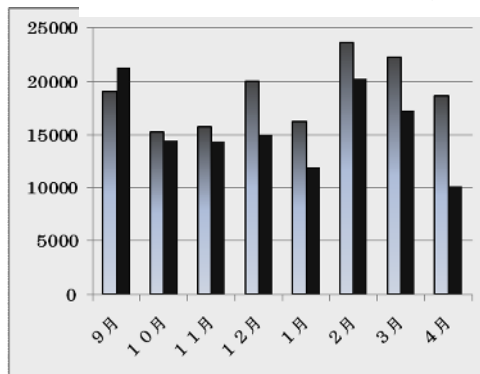
また、PTAでも被災地支援のために、家庭にある学用品を集める活動に取り組んでくださいました。こちらでも、たくさんの学用品とともに、被災地を思いやる心が集まりました。

災害そのものには心がつぶされるような思いになりますが、これらの支援活動を通じて、子どもたちが社会のあり方に目を向け、私たちが支え合って共に生きていくことの大切さを学んでくれていることが大切なのだと思います。



私たちの生活のあり方も、見直していきましょう

本校における節電の進行(kw/h)



大規模停電のおそれから、この夏に向けて節電も求められています。左のグラフをご覧ください。昨年9月以来の本校における節電の進行がわかります。

黒いグラフが今年の使用電力量です。

本校では、児童が強い問題意識を持って節電に取り組んできました。その結果、昨年度を下回ることができておりました。3月から4月にかけて、午前授業の実施もあり、大きく節電が進みました。

今後は、電気に限らず、限られた資源をどのように有効に生かしていくのか、「持続可能な社会づくり」の視点がますます重要になっていきそうですね。

八名川小学校 学校だより

第 3 1 8 号／平成 2 2 年度 3 月号

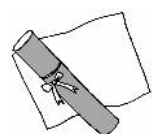
UNESCO SCHOOL

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

TEL 3 6 3 1 - 2 2 6 0



「命の学び」をどのように進めるか

校長 手島 利夫

日本の学校教育においていじめや自殺などが深刻な問題が広がりを見せています。ただ「いじめはいけません」「命は大切です」と唱えても問題は解決できません。

八名川小の教育には、その根底に、互いを大切にし、人として尊重し合う人権意識を重視し、校長も職員も子どもたちも、互いを欠けがえない一人の人として大切にすることを作りたいのです。そのような教育風土に立って、生きる喜びを感じられる授業や、互いに大切にしたい、学び合う学校づくりが進むのだと思います。

具体的には、日々の学習の中に、人とのふれ合い、生き物とのふれ合い、人の生き方とのふれ合いを効果的に取り入れることが重要です。

ただふれ合わせればいいものではありません。単元を通じた問題解決的な学習過程の中で、必要性や問題意識を伴って出会わせることが大切なのです。

先日 2 年生で行われた生活科の授業「あしたにジャンプ」では、タイムマシンボックスに先生の T シャツを入れ、みんなで「八名川大好き！大好き！」と唱えると中から赤ちゃんの時の肌着が出てきました。色々入れて赤ちゃんの頃に思いをはせているとき、教室に赤ちゃんを連れたお母さんたちが登場してくれました。

子どもたちは身を乗り出して、お母さんたちの出産や子育ての話に耳を傾けます。そして赤ちゃんとのふれ合いの時間には、こわごわ手をさわったり、だっこしたりします。「軽くて、柔らかくて、あったかかったです。」「ぼくを見て笑ってくれました。」とうれしそうです。

これらの経験を踏まえて、自分が生まれたときの様子や家族の気持ちについて、家庭での聞き取りに進んでいきます。その後は、保育園を訪問したり、3 年生の勉強についてインタビューしたりしながら、夢中で自分の成長をふり返り、中学年への意欲を高めていきます。

教科書では、必ずしも赤ちゃんとの出会いが求められているわけではありません。このような場面を作るには様々な苦勞もあります。けれども、保護者の皆様のご協力により、本物の命との出会いが実現し、子どもたちに自分自身の命を自覚させ、自尊感情を高め、生きる喜びを実感させるのです。



八名川小学校 学校だより

第 3 1 5 号／平成 2 2 年度 1 2 月号

江東区立八名川小学校

八名川小学校ホームページアドレス

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3 6 3 1 - 2 2 6 0



八名川の俳句教育、全国に！

校長 手島利夫

先日の学芸会には、ご参観いただきありがとうございました。また、準備の段階でも、様々なご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。おかげさまで、児童にとって思いで深い出学芸会となったように感じております。

さて、学区域に深川芭蕉庵をもつ八名川小学校では7年前から俳句教育に取り組みはじめ、「八名川子ども句集」は、15集までになっております。また、現代ジュニア俳句コンクールなど、様々なコンクールでも優秀な成績をいただいております。

これは、地域の方々のご協力と、小山正見前校長先生を中心に、毎週金曜日の朝学習等の時間に、全学級で「発見！感動！創造！」の俳句作りに取り組んできた努力の成果と感謝しております。

学習指導要領の改訂により、来年度から日本全国、全ての学校で国語の授業において、俳句を取り扱うこととなり、どのように指導を進めたらよいか、困っている教師も多いと伺っております。そのような中、八名川小学校での実践の積み重ねから培われた指導のノウハウに注目が集まり、様々な問い合わせもきておりました。

このような状況を踏まえ、小山前校長先生が八名川小学校での指導の進め方や、子どもたちの成長ぶりをもとに、俳句指導についてわかりやすくまとめ、「**どの子もできる10分間俳句**」として出版していただきました。ここには八名川小学校で日常的に取り組まれている「入門期の穴あき俳句づくり」「イメージマップで俳句の種を見つける工夫」「写真俳句の活用」「楽しい句会の開き方」など、実践に裏打ちされた指導方法や、それらの指導から生まれた本校児童の優れた作品の数々も紹介されております。というよりも、子どもたちの作品があるからこそ八名川小の俳句指導に価値と説得力が与えられているように思います。子どもたちの感性に脱帽です。

また、子どもたちを通して、保護者の皆様にも俳句作りの輪が広がってきました。PTA広報部が募集した「親子俳句特集」に、現在までに152句の応募がありました。これは本校の家庭数を考えると、驚異的な参加率です。「今はまだ ふりむき手をふる 冬の朝」など、ご家族のふれあいが目に見えるような句がたくさん集まっています。さすが、芭蕉さんと時代を超えて一緒に暮らす町、八名川ならではのですね。

江東区内の各学校にとっても、松尾芭蕉さんや石田波郷さんなど、優れた俳人は地域の誇りです。俳句づくりを通じて互いに学び合い、響きあえる仲間が広がっていくことは楽しみです、国内各地の子どもたちと俳句を通じた交流が広がることも期待できそうです。

今後とも、このような地域に根ざした学びを大切に、地域に誇りを感じられる子どもたちを一緒に育ててまいりましょう。

八名川小学校

学校だより

第313号／平成22年度10月号

江東区立八名川小学校

八名川小学校ホームページアドレス

TEL 3631-2260

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

息を合わせ全力を出し切る体験

校長 手島 利夫



運動会の2週間前に「今度の運動会では、仲間と息を合わせること、そして練習の時から全力を出し切ること、この二つをがんばろう」とお話ししました。

八名川小学校の子どもたちは、夏の猛暑にも負けず、練習に励み運動会当日を迎えることができました。

全力を出し切った姿に、保護者や地域の皆様から温かな拍手をいただき、子どもたちは達成感や充実感に包まれたことと思います。そして信頼できる仲間と

学ぶ幸せを感じ、自分たちやそれを支えてくれる母校への誇りが育まれたのです。

このような運動会ができましたのも、ご家庭の協力や地域の皆様のお力添えのおかげと感謝しております。

区長賞の受賞

みんなでまちをきれいにするポスターコンクール、小学校高学年の部で、6年の稲田祥広君が区長賞を受賞することになりました。11月11日に表彰式があり、稲田君の作品が、区民の皆さんとともに、江東区のきれいな町づくりを進めることになりそうです。うれしいお知らせでした。

東京都優秀校受賞

本校のホームページが、第8回全日本小学校ホームページ大賞（J-KIDS 大賞 2010）において、東京都優秀校に認められました。

学校の教育活動だけでなく、活発なPTA活動、やながわファミリー、げんきっず、ウィークエンドスクール、10分間俳句ブログなど、八名川小学校を中心とした教育ネットワーク全体が高く評価されたものと思います。ホームページボランティアの皆さんとともに喜びましょう。



八名川小学校 学校だより

第 3 1 2 号／平成 2 2 年度 9 月号

江東区立八名川小学校

八名川小学校ホームページアドレス

TEL 3 6 3 1 - 2 2 6 0

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

レトロな自転車ですね。

校長 手島 利夫

「校長先生、レトロな自転車ですね。」「昭和を感じます。」

父の遺したオンボロ自転車に乗って帰る私に 6 年児童がかけてくれた言葉でした。八名川小の子どもたちの言語感覚の豊かさや人への温かさを感じさせるひと言に出会え、父のことを思い出しながら帰宅することができました。

今年の夏も、六町会の盆踊りや西部キャンプ、子ども御輿やラジオ体操、ラストサマー・フェスティバルなど、地域や P T A の方々のお世話になり、様々なふれ合いや充実した体験をすることができました。子どもたちの豊かな感性は、このような場で、あるいは各ご家庭で培われ、学校の教育が支えられているように感じます。

8 月 7 日には第 7 回現代ジュニア俳句コンクール（現代俳句協会主催）表彰式が行われ、1 7 3 2 8 句から 3 年生の中山ゆにさんの「チューリップすこしあいてるたからばこ」（優良賞）他 4 名の佳作入賞者が選ばれ、表彰されました。

学校でも、水泳指導、学習教室、囲碁教室、カヌー教室、吹奏楽の練習等々を実施してまいりました。また、5 年生の臨海学校も素晴らしい体験になったことと思います。

秋に向かって、水泳大会、運動会、学芸会など様々な行事が続きます。日々の学習とこれらの行事を通して、子どもたちを一段と鍛えてまいります。

八名川小学校 学校だより

第 3 1 1 号／平成 2 2 年度 7 月号

江東区立八名川小学校

八名川小学校ホームページアドレス

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3 6 3 1 - 2 2 6 0



確かな学びを豊かな探究に！ ～生活科・総合的な学習の時間で創る楽しい授業～

校長 手島利夫



横田教諭と 4 年 2 組の研究授業【ごみをもっと減らそう大作戦】

厳しい時代を生きていく子どもたちに求められているのは、自分たちの手でよりよい未来を創っていく力だと思います。

それは単なる知識・理解だけでなく、問題に気づき、進んで学び、自分で考え判断し、いいと思ったことを最後までやり抜く力「問題解決力」であり、人と心を通わせ思いやる「豊かな心」などです。

では普段の授業を通してこのような力をはぐくむには、どのようにすればよいのでしょうか。

八名川小学校では、① 児童の問題意識を大切にした、問題解決的な学習過程を重視すること
② 既習事項を大切にし、教科・領域を越えて学びをつなぎ、教科横断的な学習を重視することを手がかりに、豊かで探究的な学習を創っていきたいと考えています。

このような授業の実現を目指し、上記のような研究主題を掲げた校内研究が始まっています。4 年生の社会科「ごみはどこにゆくのか」では、集約された疑問をもとに、収集車や清掃事務所の方との出会い、えこっくる江東の見学などの探究活動が繰り広げられ、行政の取り組みなどについて調べた内容は本の形にまとめられました。

このような学びを踏まえ、総合的な学習では、グラフやビデオ等の資料を活用し「ごみをもっと減らそう大作戦」の導入を工夫しました。自分たちの消費生活のあり方を見直したり、ごみ減量のアイデアを発信したりといった、実践力・行動力に結びつく学びにしていきたいのです。

6 月 2 9 日（火）には講師の先生を招いて、4 年 2 組で研究授業も行われ（写真参照）教科横断的な授業のあり方等について学び合うことができました。

7 月 1 5 日には「地球時代の学びを考える」と題して、素晴らしい講師の先生をお招きし、公開講座を開催する予定でもあります。これは、保護者の皆様、地域の皆様とともに、子どもたちが生きていく時代の抱える課題や、これからの学校教育（家庭教育）のあり方等について学び合いたい考えるからです。後日ご案内いたしますので、ご参加ください。

今年の夏休みも、学校では特別水泳教室、学習教室、補習教室、囲碁教室、カヌー体験教室などが行われます。また P T A 主催のラジオ体操やラストサマーフェスティバル、地域の盆踊りや神明宮例祭での子ども御輿など、様々な行事も予定されています。子どもたちにとっても、地域の一員として豊かで思いで深い夏休みにしてまいりましょう。

八名川小学校

学校だより

第 3 0 9 号／平成 2 2 年度 5 月号

江東区立八名川小学校

八名川小学校ホームページアドレス

TEL 3 6 3 1－2 2 6 0

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

地域に根ざし、未来を目指した教育を進めます



校長 手島 利夫

何のために学ぶのですか

八名川小学校での初めの全校朝会で「皆さんは何のために学ぶのですか。来週まで考えておいてくださいね。」と投げかけました。

すると、2年生の子は「勉強して立派な人になるためです」と、そして5年生は「自分の夢を実現するために学びます」「知識を身につけ、社会で役に立つために学びます」「人として道徳も大切にしたいです」などと答えてくれました。素晴らしい答えに、うれしくなりました。そこで、翌週には次のような話をしました。

私たちが何のために学ぶのかを考えると

私たちはどんな時代に生きていくのか

ということを知らなくてはなりません。私たちの生きていく時代には、大変厳しく困難な問題がたくさんあります。その一つが「地球温暖化」の問題です。子どもたちには、地球シミュレーターというスーパーコンピューターで測定・予測された、地球の過去から未来の気温変化を世界地図上で見てもらいました。

3年生が30歳になる2031年には世界地図が真っ赤に染まって、世界のどこにも逃げ場のない状況が広がりました。驚きの声が広がります。

温暖化が進むと

ものすごく寒くなったり、ものすごく暑くなったり、気候は激しく変わります。洪水や干ばつも起こりますし、砂漠化も進み、世界的な食糧不足も深刻になります。

この問題の責任は大人たちにあります。しかし、厳しい世界に生きていかななくてはならないのは、子どもたち自身なのです。ただ、有名校に進学し、優良企業に就職できたとしても、それだけではどうにもならない現実が待っているようです。本当に深刻な人類全体の問題を前にして、あきらめや無関心でいるわけにはいきません。しっかりと学んで、

未来を変えていく能力を

身につけなくてはなりません。「皆さんの日々の学習は皆さんの未来につながっているのです。しっかり勉強しましょうね。」と語りかけました。

さて八名川小学校には、今まで進めてきた素晴らしい教育の蓄積があります。その良さを大切にしながら、未来を目指した教育にも視野を広げていきたいと思っております。保護者や地域の皆様は、どのような教育が[子どもたちの未来を変えていく力を育てる]とお考えになりますか。

様々なご意見をお聞かせいただき、皆様と一緒に考え、取り組んでいきたいと思います。

八名川小学校

学校だより

第 3 0 8 号／平成 2 2 年度 4 月号

江東区立八名川小学校

八名川小学校ホームページアドレス
http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3 6 3 1 - 2 2 6 0
校長 手島 利夫



地域に根ざし、未来を目指した教育を進めます



校長 手島 利夫

伝統ある八名川小学校に着任し、喜びとともに身の引き締まる思いで、始業式・入学式を行います。今年度は、62名の新一年生を迎え、児童数321名、10学級でのスタートとなります。保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて、未来社会の担い手をはぐくむ教育に取り組めます。八名川小学校の伝統を引き継ぎ発展させてまいりますので、よろしくお願いいたします。

元気なあいさつ八名川スマイル

4月1日、学校に着任したとき、職員・PTA役員さんとともに、げんきっずの子どもたちが素敵なあいさつで迎えてくれました。元気なあいさつと輝く笑顔は、八名川小学校の世界に誇る宝ものです。これからも学校全体で大切にしていきます。

緊張感のある充実した授業

何よりも気持ちを集中させて授業を受けることが学力向上への道です。ねらいを明確にした授業作りに全力をあげます。同時に、学習塾との連携による習熟度別学習(高学年)や学習アシスタントの導入(低学年)を行い、児童一人一人に目を配ります。「八名川教育相談室」もご活用ください。

発見・感動・創造の俳句教育

俳句は、芭蕉の住んだ土地、八名川の文化であるとともに、日本が世界に誇る定型詩です。日常的に俳句に取り組み、発見する眼、感動する心、創造する意欲を育てます。八名川小を、そして江東区を児童俳句のメッカとし、全国に発信すると同時に、地域の文化や歴史に対する誇りを育てます。

芝生を活用した緑の学校

緑の芝生に映える満開の桜は、子どもたちの心のふるさと（心象風景）になります。また、八名川公園を地域の方々のご協力の下、活用させていただき、子どもたちの体力づくりを進めます。

保護者・地域・専門家との一層の連携

八名川小学校の一番の特徴は、学校・保護者・地域が一体になっていることですね。私は桜まつりの「よさこい」やホームページを拝見して実感しました。放課後のげんきっず、土曜日のウィークエンドスクール、様々な大会への参加や、多くの専門家の方々の特別授業など、子どもたちに感動やあこがれを育て、学習や生活を豊かなものにしています。この良さを定着させ、皆様のご協力で一層発展させていきます。また、やながわファミリーとの連携で「学校支援本部」事業への取り組みも大切にしていきます。